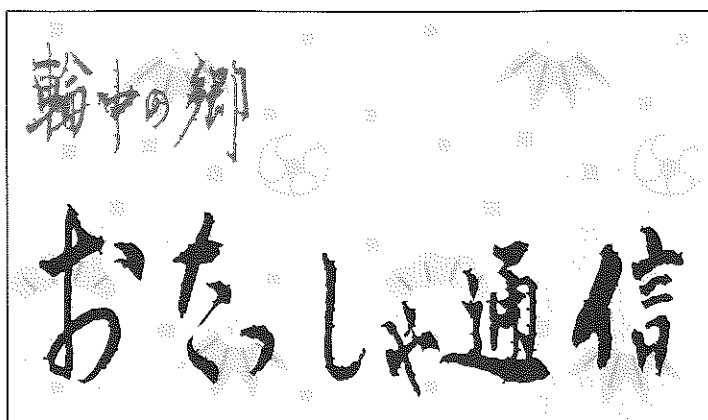


第92号



社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷  
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷  
デイサービスセンター 輪中の郷  
弥富市デイサービスセンター  
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000  
愛知県弥富市大藤町5番地3  
TEL (0567)65-5531  
FAX (0567)65-5536  
E-mail info@yatomifukushikai.com  
URL http://yatomifukushikai.com

# 新年のご挨拶



理事長 山田 耕一

明けましておめでとうござい  
ます。

今年も社会福祉法人弥富福祉会は、お陰様で無事にお正月を迎えることが出来ました。昨年皆様方のお力添えで、大過無く過ごせましたことに、心から感謝するとともに、利用者様に少しでも快適に過ごしていただきましたことに安堵しております。

輪中の郷の入居者様、デイサービス利用者様やご家族の皆様、その他弥富福祉会に関わっていただいている方々に、スタッフ一同と揃って新年のお喜びを申し上げます。今年も細心の注意をはらいながら精一杯の努力をしていく所存でございますので、ご理解ご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私事で大変恐縮ですが、昭和38年(1963)日本ラグビー協会は代表チームを戦

後初めての海外遠征、カナダ・アメリカ派遣を実施しました。

日本中の数百名のラグーマンの中から、厳しいセレクションを何度も通過して、大学二年生になったばかりの最年少20歳で、最終23名のメンバーに入ることが出来ました。

因みに第1回の海外派遣は、第二次世界大戦前の昭和5年(1930)に、全日本(日本代表)はカナダへ約二週間かけて、太平洋を船で出かけたそうです。米・味噌・醤油・梅干し等を持ち込み、船内で自炊しながら昼間は甲板で練習して試合に備えたと聞いています。今の若い方には想像も出来ないほどの昔話になります。まあお読み頂きたいと思えます。

昭和39年(1964)開催の東京オリンピックを前に、当時の日本は戦後の復興期そのもので、日本中が近代化を目指して建設ラッシュでありましたの

で、高度経済成長とか日本列島改造という言葉まで生まれました。戦後間もない頃は人力の大八車やリヤカー、そして今では見ることが出来ない小回りの利くオート三輪車が往来して、田舎の田圃道までもが少しずつ舗装されていく頃でした。

海外へは年間約2万人から3万人、選手の中には親族と水杯を交わしてきたという人も少なくありませんでした。昨今の年末年始や5月の大型連休時には、一日で5万人ほどの出国者があります。1ドルは360円の時代でしたが、カナダやアメリカの銀行では、百円札(当時の百円はコインではなく札でした)を4枚持っていき1ドルコイン一つを貰っても、10円玉4つ40円のお釣りがないので、結局1ドルは400円となった訳です。学生は200ドルまでの持ち出し制限もありました。今のUSドルレートは100円から120円までくらいに納まっていますし、クレジットカード支払い可能となり、その日のレートで現金のやり取りなしで、買物が出来ますので大変便利になっていきます。建設部門でも「よいとまけ」の歌にもありますように、人力が主体で現在のような機械化はまだ先の話になります。新幹線開通前の事です。

入居者様の多くは、第一次・第二次世界大戦の戦前・戦中・戦後の激動時、日本人が一番苦しかった、あの時代の苦勞を乗り越えて、自分の為より家族の為、延いてはお国の為と、齒を食いしばられたからこそ、今日の近代国家日本がある訳です。この時代を知らない方でも、高齢者を邪魔者扱いせず、リスペクトしてよく理解し、対応していただきたいものです。

このような日本の状況下の中、生まれて初めて乗った飛行機、空の貴婦人と呼ばれたDC8型機で8時間かけて憧れの大自然の国、カナダのバンクーバーに到着しました。見るもの聞くものすべてレベルが違い、絵葉書や総天然色(カラーを当時はこう表現していました)の映画(テレビはまだ白黒が主体でカラーは特別なものでした)で見る通りの街中風景です。赤茶色の瓦屋根、白い壁、家の周りは広々とした芝生に花という素晴らしい環境。高級で高層ホテルでの遠征生活で文化レベルが高く、全ての事が衛生的かつ治安も大変良いと聞いていました。「こんなところで生活したい、生涯を過ごしたい」と真っ先に感じました。

なんと少しでも再びこの地を訪れたい、出来ることなら指導者になつてチームを連れて、この世界を見せたい、体験させたいが夢でした。(それから20数年後に夢は

叶い、カナダ・アメリカには40歳と60歳合わせて3回訪れることができました。また、高校生もオーストラリアやニュージーランドに数年おきに6回連れて行くことが出来ました。時は流れて55年後の現在は、試合引率やスカウト仕事その他、観光を含めて20数ヶ国、58回海外に出ています)

協会が認めた国際試合(テストマッチ)は、5戦中4勝1敗の成績で、「青い目をうならせた日本ラグーマン、初戦最初のトライは山田耕二」の見出しで一面の新聞報道もありました。

このような文化的相違(カルチャーショック)を受けている中で、カナダ・バンクーバーのプロクトンポイント公園やビクトリアのブッチャーズガーデン、サンフランシスコのフィッツシャマンズワーフ・マーケットなど、日本の風景には見慣れない、ちよつと違ったことは、なんと車椅子(ホイールチェア)の姿が多く見られることでした。

ハワイのワイキキビーチ等地域住民の憩いの場所であったり、世界各国から観光客が集まる場所に、多くの車椅子の方々が家族連れやパートナー如き方と、バリアフリーの園内を散策されているところを幾度となく眺めています。市街地のスーパーマーケットでも同様の状況を見てきました。それらの方々は健常人よりも笑顔で、生き生きとした表情を垣間見

た時、日本の状況と明らかな違いを感じ取ったものでした。

一番の驚きは、カナダ代表選手にベイチという右腕がない左の片腕の選手がいたことでした。ラグビーはご承知のとおりボールを持った格闘技と言われ、球技の中では激しい身体接触が許されまですので驚きの選手でした。彼は幼少期に材木に挟まれて、肩から下の右腕を切断したと聞いていました。日本にも代表選手として東京青山の秩父宮ラグビー場で活躍したことは、高校生時代に白黒テレビで見たことがあり、驚きと憧れの選手と対戦できたわけです。プレーも代表選手だけあって双方真剣勝負で手加減するどころか激しく鋭いものでした。

彼の車はアメリカ産大型車マニユアルのハンドルチェンジで、乗せてもらいましたが、運転もスイスイ上手いものでした。有料ブリッジの料金支払いも左手だけで、何の不自由さも感じさせることなく、お金もきちんと支払えましたし、なにせ性格がきわめて明るい。金髪でスタイルが良い奥様と、可愛らしいお子様ダニーベイチ君が、若い日本人の私を自宅に招いて歓迎していただいたことは、55年以上経つても鮮明に記憶に残っています。幾人の方とは、いまだにクリスマスカードのやり取りが55年も続いています。

私は若気の至りで、恥ずかしいことではありますが、当時の日本

には、白い服を身にまとい、戦闘帽で黒メガネ、松葉杖を持った傷痍軍人らしき人物が、駅前や街頭で物乞いをする姿はあつても、街中で身障者を見かけなかったのに、障害を持った人は皆無に近いと思っていました。ところが大学を卒業して職に就き、生徒の就職先の病院訪問をした時や、家庭訪問をした際に、障害を持った多くの方は病院内や家庭内に閉じこもっていて、表面には見えなかっただけと分かるようになってきました。それはいくらか文化レベルの差がそれぞれの国によって違いはあつても、障害を持った方の割合には大差がないことが自分なりに分かってきました。

私の知人宅にもダウン症(当時は蒙古症とも呼ばれていました)の子供がいましたが、屋外への外出は控えめで、目立たぬ生活を余儀なくされていきました。要するにその頃の日本には、障害者は外に出さない風習があつてか、国によつても外出するか、しないかの差であることが分かってきました。

昨今の日本では障害者に優しくと、公共施設はバリアフリーになり、駅構内にもエレベーターが設置されてきました。列車内にも車椅子スペースが設けられてきているように、多くの場所が障害者でも行動が出来るようになってきています。

特筆したいことは、1964年

の東京オリンピックの後から始められたパラリンピックに見られるように、障害を持ちながらも明るく楽しく伸び伸びと光り輝いてプレーしている姿は、まさに55年以上も前のカナダやアメリカの状況が浮かび上がってきます。

これからの世界的環境は、前述のように益々外に出た生活や、スポーツが推奨されてくると思われる。障害を持った方の就職活動も出来るようになってきていますし、環境面も一部であった偏見の日も随分変わってきていると実感しています。少しピントは合っていないかもしれませんが、福沢諭吉の「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」の如き、人は皆平等で同じ権利を有するものと、当施設スタッフ一同も周知徹底して対応させていただいています。

高齢者や障害者の方々に優しく接しなればならない昨今の環境下でありながら、一昨年神奈川県相模原市の津久井やまゆり園障害者施設で大変残念な事件が起きたり、障害者にいたずらをしたたり、またブラットホームでの転落事故、介護心中や介護者殺人等のニュースがありますと、まだまだ日本の文化レベルや介護レベルの低さか残念でなりません。

入居者様にも、行き届いた神経を使いながら、担当者がカンファレンスを重ねて対応させて頂いています。また、介護関係職員は各種研修会に出て技量を高めています。満足することなくさらに研鑽を高めていく所存でございます。

最後になりましたが、海南病院や歯科医師会の医療関係の方々、民生委員の方々、JA関係の方々、地域の方々、そしてその他のボランティア活動で支えてくださる方々に、理事・評議員を代表しまして心から日頃の感謝を申し上げます。

先般の雨漏り修理や外壁塗装に引き続き室内のリニューアルも進めてまいりましたので、利用者様にはより一層の快適さを感じていただけると自負しております。

利用者様やそのご家族様の多くの方々から、「ありがたいこととです」と感謝と労いの言葉を頂いておりますが、この言葉に甘えることなく、今後も更なる研鑽を積み、満足度の高い介護施設を目指してまいる所存でございますので、ご意見やご要望も合わせてお願い申し上げます。

今年戌年が、皆様にとって健康で明るい良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新春を迎えて



弥富市長 服部 彰文

あけましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

平素は市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人弥富福祉会におかれましては、昨年輪中の郷開設25周年を迎えられた記念すべき年でした。

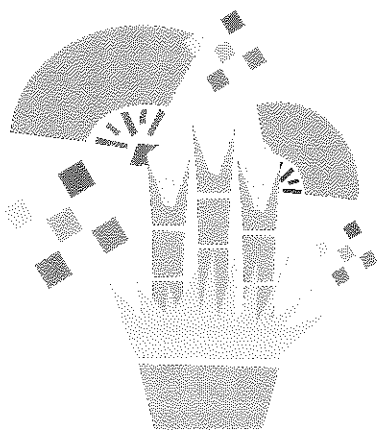
この25年の間には、措置制度から介護保険制度への変革、そして、少子高齢化や単身世帯の増加など、福祉を取り巻く社会環境が大きく変化するとともに、そのニーズも複雑かつ多様になってきました。そのような中、貴法人は地域に根ざした施設として事業を展開しておられ、本市の高齢者福祉向上に大きくご貢献していただいております。敬意と感謝を申し上げます。

さて、本市におきましては、

「第7期介護保険事業計画・弥富市高齢者福祉計画(平成30～32年度)」を策定し、団塊の世代が75歳以上になる7年後を見据えつつ、医療・介護等の連携、認知症施策の推進、介護予防・日常生活支援総合事業の推進等、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進してまいります。

要支援者等に対して効果的かつ効率的に支援を行うよう、ささえあいセンター機能の充実を図るとともに、認知症予防教室やふれあいサロンの実施及びサポーター養成講座を各地区で開催し、できる限り住み慣れた所で自立した生活を送ることが出来る地域づくりを目指します。

更に、高齢化が進展する社会では、ライフスタイルの変化などにより、ニーズも多様化しています。そのニーズに対応していくため、保健・医療・福祉が連携し、質の高い総合的なサービスの提供体制を整備し、「健やかでやさしいやとみ」に向け邁進してまいります。



ます。

また、障がい者支援につきま  
しては、「障害者差別解消法」  
が施行され、平成30年度からの  
3年間、「第5期障がい福祉計  
画・第1期障がい児福祉計画」  
に基づき、障がいのある方が差  
別なく共生できるまちづくり  
に向け努力していきます。

その一つとして、障がいのあ  
る方が地域の中で自立した生活  
ができるよう、海部南部障害者  
自立支援協議会と協力して、障  
がい者グループホームの建設に  
向け、事業者を積極的に支援し  
てまいります。

今後とも市民一人ひとりの幸  
せ向上を目指してまいりますの  
で、皆様の一層のご理解とご協  
力を賜りますようお願い申し上  
げます。

終わりに、貴会の益々のご発  
展と関係各位のご健康とご多幸  
をお祈りいたしまして、新年の  
ご挨拶とさせていただきます。

# 入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられ  
た方々を紹介します。



**青谷由久三さん**

9月より、いちよう・  
しらかばほーむの家族  
になられました。レクリエーショ  
ンの時には、一生懸命楽しく取り  
組まれ、職員にもよく昔話をして  
くださいます。

私達職員はいつもお話しを聞く  
のが楽しみです。また、笑顔をも  
ると私達も嬉しくなります。何で  
もできることは自分でしようと努  
力をされる方なので、ケガ等体調  
にも気をつけて下さいね。  
これからも末永くよろしくお願  
いします。  
(伊藤佑里子)



**増野英子さん**

11月より、いちよう・  
しらかばほーむの家族  
になられました。少しずつほーむ  
の生活にも慣れてこられ、何かし  
た後には、「ありがとう」と笑顔  
で言ってお下さいます。

まだまだ寒い日が続きますが、  
たくさん食べて元気に過ごして下  
さいね。暖かくなったら、散歩に

出かけましょうね。  
これからもよろしくお願いま  
す。  
(立花美雪)



**森きよ子さん**

11月より、いちよう・  
しらかばほーむの家族  
になられました。

居室で過ごされることが多いで  
すが、ご家族が面会にみえた時  
は、お散歩に行かれたりします。  
これから少しずつ起きる時間を増  
やしていき、たくさんさんの思い出を  
作っていきましょう。

末永くよろしくお願います。  
(伊藤佑里子)



**青木豊子さん**

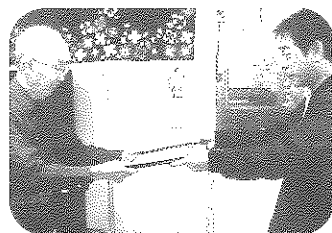
11月より、いちよう・  
しらかばほーむの家族  
になられました。

甘い物がお好きなようで、食べ  
た時にとてもいい笑顔を見せてく  
ださい。

また、いつもは静かに過ごされ  
ていますが、声をかけるとニココ  
リと笑われ、たくさんお話しをし  
てくださいます。

寒さもますます本格的になって  
きますが、しっかり栄養をとって  
元気にお過ごし下さい。  
これからもよろしくお願ひ致し  
ます。  
(奥村和久)

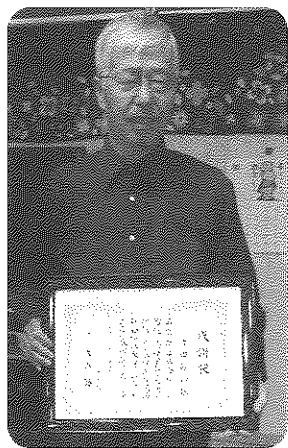
## 永年ボランティア活動表彰



輪中の郷で  
平成15年12月  
から月1回ギ  
ター演奏にあ  
わせ、唱歌・  
演歌などを歌  
うなどのふれ  
あい活動を通  
じ、福祉向上に寄与されている  
古田敏行さん。

このたび、その活動に対し、愛  
知県社会福祉協議会から感謝状が  
贈られ、11月の訪問日の10日  
(金)に贈呈式を行いました。

このサプライズに、少し驚かれ  
た様子でしたが、永年の活動に対  
しての表彰に、喜んでいらつしや  
いました。いつも若々しく元気に  
ギターを持って来訪されるのを、  
住人さんも楽しみにしております。  
これまでの活動に感謝すると  
ともに、今後ともよろしくお願ひ  
致します。  
(平川幸士)



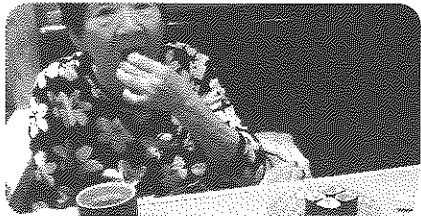
丸忠に行つて  
きました!!



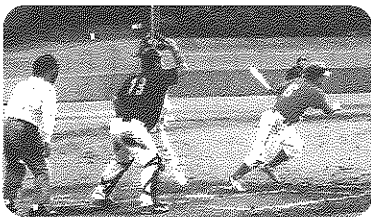
9月の終わりに昼食を兼ねて丸忠に、いちよう・しらかばほーむの住人さん3名とお寿司を食べに行きました。

お店まで少しドライブをしながら、昔の話をして車中では盛り上がりました。行く前は、「私はいから他の人を」と言われていた方が、お店に着きお寿司が回ってくる、「あれが食べたい、これが食べたい」と、好きなネタをたくさん食べられ、最後にデザートもペロリ！皆さんとても喜ばれていました。普段は一緒に食事をすることがないので、いろいろ話をしながらお寿司を食べて、とても楽しい時間が過ごせました。また、皆さんでお寿司を食べに行きましようね。

(立花美雪)



野球大会の結果



第22回愛知県老人福祉施設職員野球大会の三回戦が、10月4日(水)に行われました。

初戦に運よく先制しました。が、その裏すぐに逆転され、三回には1点差に追い上げますが、またもその裏に1点を追加されました。

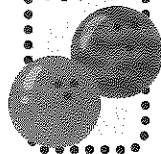
四回以降は、相手投手に抑えられ、逃げ切れませんでした。ここ数年は初戦を勝つのが精一杯という状況が続いています。次回の第23回大会は、新戦力に期待し臨みたいと思います。

(平川幸士)

▲三回戦(10月4日)

海部高トリティーズ	1	0	1	0	0	0	0	0	2
岩手福祉センター	3	0	1	0	0	0	×		4
	一	二	三	四	五	六	七		計

ボウリング  
大会の結果



第19回愛知県老人福祉施設職員ボウリング大会が、知立イーグルボウルにて11月25日(土)24チーム参加で行われました。我が法人からは2チーム参加しましたが、



他の参加選手の中には、マイボールを持って、いる方や、ユニホームを揃えているチームなど、大会をより一層盛り上げていました。

良いスコアが出なくても笑顔で応援したり、他のチームがストライクをとると一緒に拍手をしたり、何よりも楽しみながら交流をもつことができました。

今回、普段なかなか関わりがない他部署の職員とチームを組むことになりましたが、互いに応援し合い、ハイタッチをしたりして、ボウリングを通じて、良い関わりをもつことができました。表彰式では、個人とチームの表彰が行われ、輪中の郷チームWAGUMA IIが5位入賞を果たしました。

年に一度のボウリング大会、来年の大会では今年よりも更に上の

成績を残し表彰されるよう頑張りたいと思います。

(佐藤大樹)



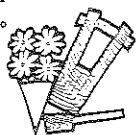
亡くなられた方々

- ・佐野玉子さん 九十七歳 平成二十九年十月十日
- ・伊藤とき江さん 一〇一歳 平成二十九年十月十四日
- ・小島康孝さん 七十六歳 平成二十九年十月二十九日
- ・井口益良さん 九十二歳 平成二十九年十月三十一日
- ・平野ハナ子さん 九十二歳 平成二十九年十一月二日
- ・服部すみゑさん 九十一歳 平成二十九年十一月三日
- ・久保節子さん 八十六歳 平成二十九年十一月十日
- ・横山 仁さん 八十歳 平成二十九年十一月二十九日

皆さんの

ご冥福を

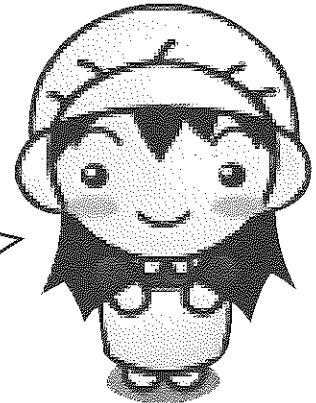
お祈りいたします。



# SMILEレシピ

## さっぱりチンジャオ

おせちに飽きた頃、いかがですか!?今回は中華をご紹介します。  
中華料理のチンジャオロースをさっぱりと、  
酢を入れることで日持ちもよくなります。



調理師  
松永恵美子

### 作り方 調理時間10分

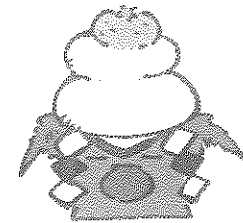
- ①豚薄切り肉は半分の長さに切り、  
Aをもみ込んでおく。
- ②フライパンにオリーブ油を熱し、  
①を入れて中火で炒める。  
肉の色が変わったらピーマン、  
玉ねぎを入れて炒める。
- ③全体に油がまわったら、しょうが、  
Bを入れて2~3分炒め、保存容器  
に入れる。

### 材料2人分

- |             |        |
|-------------|--------|
| 豚薄切り肉       | 200g   |
| ピーマン(細切り)   | 3個     |
| 玉ねぎ(薄切り)    | 1/2個   |
| しょうが(すりおろす) | 1かけ    |
| A           |        |
| 塩、こしょう、酒    | 各少々    |
| オリーブ油       | 大さじ1/2 |
| B           |        |
| 酒、しょうゆ、酢    | 各大さじ1  |
| みりん         | 大さじ1/2 |

## 台所の薬草

### 「鏡餅」



今年の年始め  
は、「鏡餅」に  
ついて紹介した  
と思います。

この鏡餅です  
が、「鏡」はど  
のような由来があるのか、疑問に  
思ったことはありませんか?ただ  
餅を重ねただけで鏡は使っていな  
いのには:

それは、昔の鏡(昔の鏡は青銅  
製で丸い形をしていました)を例  
えた物と言われています。古い  
昔、鏡はよく神事などに用いら  
れていた為、神仏にお供えする際  
に餅を丸く形どり、鏡に見立ててお  
供えするようになったようです。

鏡には神様が宿ると言い伝えら  
れている事もあり、鏡をかたどつ  
た餅を飾る事で、神様と一緒に一  
年の初めを祝うために、お正月に  
飾るようになったそうです。

鏡餅の飾りにもいろいろな意味  
がありますが、それはまた次回に  
紹介します。

今年一年、神様の宿った鏡餅と  
新年を迎えられた皆様の一年が、  
良い一年となりますように。

(星野芳江)



# デイサービスセンター 輪中の郷

## 『外出と慰問』



11月1日(水)〜3日(金)にかけて、季節外出として佐古木にあるイチョウ並木の観賞に出かけました。まだ青さも残っていましたが、

黄金色をしたイチョウの木を見て、「きれいな色をしてるなあ」「昔、イチョウ祭を見に行つたことを思い出すなあ」など、様々な声が聞け、秋晴れの暖かい日でもあり、皆様喜ばれていました。次の季節外出は、桜の咲く頃になると思いますが、その時また皆様の笑顔と共に見に行きましょう。

11月11日(土)に初めて、「歌と踊りの金ちゃんファミリア」の皆様が訪問されました。15歳の男の子の踊りに、「孫みたい」「かわいらしい」など言われ、中には自分の孫を思い出し、涙を流す方も・・・。

裸の大将の演技の時は、利用者の方が紙で出来たおにぎりを手渡すシーンもあり、皆様とても楽しんでおられました。

色々な外部慰問があります。その時その時を感謝し、皆様で楽しく盛り上げていきましょう。(水谷和宏)



# 弥富市 デイサービスセンター

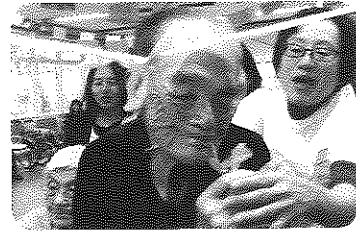
## 『運動会』

11月18日(土)に運動会レクリエーションを行いました。今年は、ご家族の方にも参加して頂き、「パン食い競争」「借り物競争」「リレー」の競技を、紅白

にわかれ利用者さん・ご家族・職員皆で行いました。やはり勝負事だからなのか、どの利用者さんもとて真剣な様子で競技に参加し、いつも職員が見ている姿とは全く違う動きをされ、また自分のチームを大きな声で応援するなど、大いに盛り上がりました。ご家族・職員もその姿を見て



なのか、負けじと大声を出してリレーを真剣に走る姿が見られました。今年も引き分けに終わりましたが、今度は勝ちたいですね。今後いろいろな行事を考えていきますので楽しみにして下さいね。(神崎雄生)



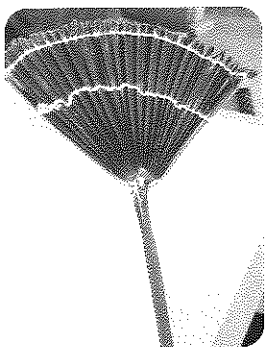
# 弥富市南 デイサービスセンター

## 『ハエタタキ』

皆さん、シユロという植物を知っていますか?この



庭などに植えていますが、10月下旬にこのシユロの葉を利用してハエタタキを、農家もしている運転手さんが作ってきてくれました。見た感じ「小さいほうき」でしたが、利用者の方で昔作ったことがあると言ってくださり、昔に戻って作りましょうとなりました。思い出すまでに時間はかかりましたが、懐かしそうにタコ糸を使って編んでいきます。「昔は今みたいな物がなく、家にシユロがあったから何でも作ってたんだよ」「物のない世代の知恵だよ」と利用者の方は言われます。これからも若い世代へ、利用者の方々に伝授して頂きながら、いろいろな事を学びたいと思います。(村瀬明美)



# 中山秋まつり

10月1日

(日)に、輪中の郷近隣の中山地区で秋まつりがあり、皆様のご厚意で山車が立ち寄ってくださいませ



した。ここ数年恒例になっており、ありがたいことです。鐘や太鼓の音がだんだん近づいて、住人さんの気持ちもはやります。急いで1階へ行き、山車を迎ええました。

当日はお天気も良く秋空の下、何人かの住人さんは、鐘や太鼓を叩かせて頂き、お祭りを楽しみました。中山自治会の皆様、ありがとうございました。

(寶泉忠之)



# いい夫婦の日

## いい夫婦の日

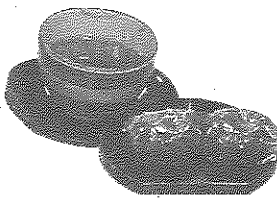
今年も11月22日(水)、「いい夫婦の日お茶会」に元職員ご夫婦も招待し、合計8組参加してくださいませ

た。当日は、昔の思い出などを語っていただき、いろいろな話を聞くことができました。夫婦で話しをする時は、少し照れられ、特に写真を撮る時は恥ずかしがられたり、今まで見たことがない表情をされていた住人さんもみえました。

普段は、「奥さんがこうだ、夫がこうだ」と愚痴を言ってみえますが、実は仲が良く支えあい、お互いなくてはならない存在だと感じました。

私達も、住人さん夫婦までは無理かもしれませんが、近い信頼される存在であるよう努めます。

(山田圭一)



# ホーム入所選考結果

11月29日(水)に第47回入所選考を行い、要介護3以上の方について次表のとおり待機者名簿に登載し、入所順をご家族に通知しました。

津島市	1	0	1	男
愛西市	0	1	0	女
弥富市	13	0	1	計
名古屋市	1	0	1	
蟹江町	1	0	1	
飛鳥村	1	0	1	
木曾岬町	0	2	2	
計	17	40	57	

ご寄付ありがとうございました

10月1日～11月30日

- 志田英久様
- 下村ます子様
- 中山自治会様
- 中部善意銀行様
- 弥富市編み物ボランティア様
- 渡辺重明様
- 小紅会様

# 編集後記

平成29年酉年が暮れていきました。毎年の事ながら、あつという間に一年が過ぎていったと思うのです。そして、今年はどうな出来事があったかな？あれ、今年は何年(干支)だったかな？自分は何歳になったんだっけ？・・・というスパイラル『振り返りアリ地獄』に陥ります。

その後年が明け、届いた年賀状や新聞を見て、スパイラルから開放されるのです。平成30年戌年一体どんな一年になるのでしょうか。平成という元号が丸々つく一年は、今年がラストです。何かと落ち着かない年となりそうな気がします。ここは気持ちだけでも落ち着かせて、奮い立たせてこう呟きたいと思います。「かかってこんかい！」

(荒不雄)

